

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

京都市立南大内小学校（京都府）

## 【取組内容①】一人一台端末とクラウドの活用による協働的な学び ～考えや意見を共有する～

- 児童が調べたことや気付いたこと等を学習支援ソフトを用いてクラウド上で共有し、共同編集による整理やまとめを実施した。
- 共同編集により様々な意見が即時に反映、整理されることで、児童は互いの意見を比較し、共通点や相違点を見出すとともに、更に考えを深めることができた。

### （共同編集を活用した主な取組実践）



社会科の学習で、沖縄の伝統的な家と現代の家を比較して、各自が気付いたことを学習支援ソフト上のノート上で共有し、分類・整理を実施。各児童の意見が即時に共有されるため、伝統的な家に対する意見が出ると、すぐにそれと比較して現代の家に対する意見があがる等、活発な話し合いが見られた。

総合的な学習の時間に、本校付近の「東寺」と修学旅行で訪れる香川県善通寺市の「総本山善通寺」についての調べ学習を実施。まずは身近な東寺について、各児童が調べたことをクラウド上に提出し、似た意見をまとめるなどの分類を共同編集により実施。友達と交流しながら様々な意見に触れることで、自分にはなかった気づきを得たり、新たな疑問が生まれたりしている様子が見られた。【左図】  
また、学習の総まとめでは、東寺と善通寺についてこれまでに調べてきたことをクラウド上で共有。共通点や相違点について、ベン図を用いて話し合いながら共同編集で整理することで、理解の深まりが見られた。【右図】